

た

YouTube の「ゆる言語学ラジオ」の「た」の説明についての私論

2025. 11. 1 国分芳宏

助動詞「た」の基本的な意味は「動作の時間的な前後関係を示す助動詞」です。過去を示しているわけではありません。

手元の文法書には連用形が欠落しているように書いてありますが、接続助詞の「て」が連用形です。一つの助動詞と考える理由の一つは両方とも前の動詞の活用形によって濁音化します。

例 終止形 連用形

書いた 書いて カ行 5 段

飲んだ 飲んで マ行 5 段

「た」を過去の助動詞としたためこのようなことになったのでしょう。

説明の都合でこの連用形「て」から始めます。

「来てみる」を別の言い方にすると「来て（から結果を）みる」ということができます。つまり「来る」という動作は「見る」という動作より先に行われていることを示しています。逆に「見てくる」を別の言い方にすると「見て（後に）来る」ということができます。

「煮た大根」と言うと大根がすでに煮てあることを示します。この動詞「煮た」の後ろに続くものがないときに「過去」になります。

例 大根を煮た

面白いことに「煮た大根」は英語でも Boiled radish と過去形で示します。

動詞が瞬間動詞のときは過去に継続動詞の時は過去完了になります。

例 彼が転んだ 「転んだ」が瞬間動詞のため過去

彼は転んでいた 「転んでいる」が継続動詞のため過去完了

連用形「て」の後に続く動詞は補助動詞と言われています。この動詞も前の本動詞の動作の後、行われる動作を示したものです。

補助動詞は下記のオープンソースの中の「補助用言.txt」というファイルにあります。ご参考までに。

<https://github.com/kokubuyoshihiro/japanese-dictionary>